

チーム：わかったの瞬間

Moment Of Eureka

神経科学的妥当性評価：実装したものに✓印を入れてください。

		✓			✓
海馬内活動	リプレイ		脳領域構造	CA1	
	プリプレイ			CA2	
	場所細胞			CA3	
	グリッド細胞	✓△		歯状回	
	頭部方向細胞			嗅内皮質	
	シータ位相歳差			海馬支脚	
	スパース表現			Perirhinal Cortex	
	パターン補完			Postrhinal Cortex	
	細胞新生		その他	コネクトームの導入	
行動機能	自律的フェーズ変化			BiCAMONでの可視化	
	エピソード記憶	✓△		その他	
	場所の再認	✓△			
	記憶転送				
	ナビゲーション/空間認知	✓△			
	Path integration				

取り組んだところ。
完成とは言えないので、△です。

規定課題点評価：成功・失敗エピソード数を記入してください。

課題番号	成功エピソード数	失敗エピソード数	合計エピソード数(成功＋失敗)
1－1			
1－2			
1－3			
1－4			
1－5			
1－6			
1－7			
1－8			
2－1			
2－2			
3－1			
3－2			
3－3			

バグって動かなかったので、
成果はなしです。

課題1－1

課題1－2

課題1－3

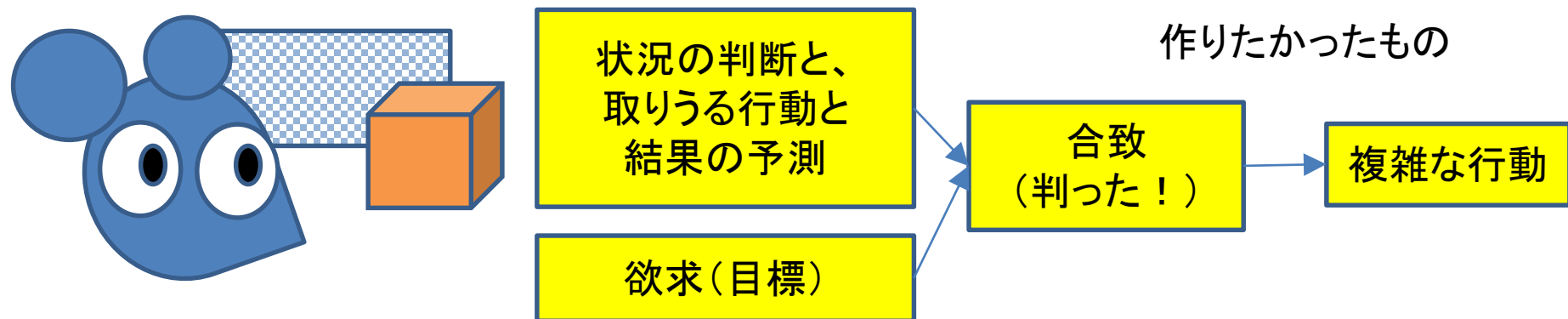
課題1－4

課題1－5

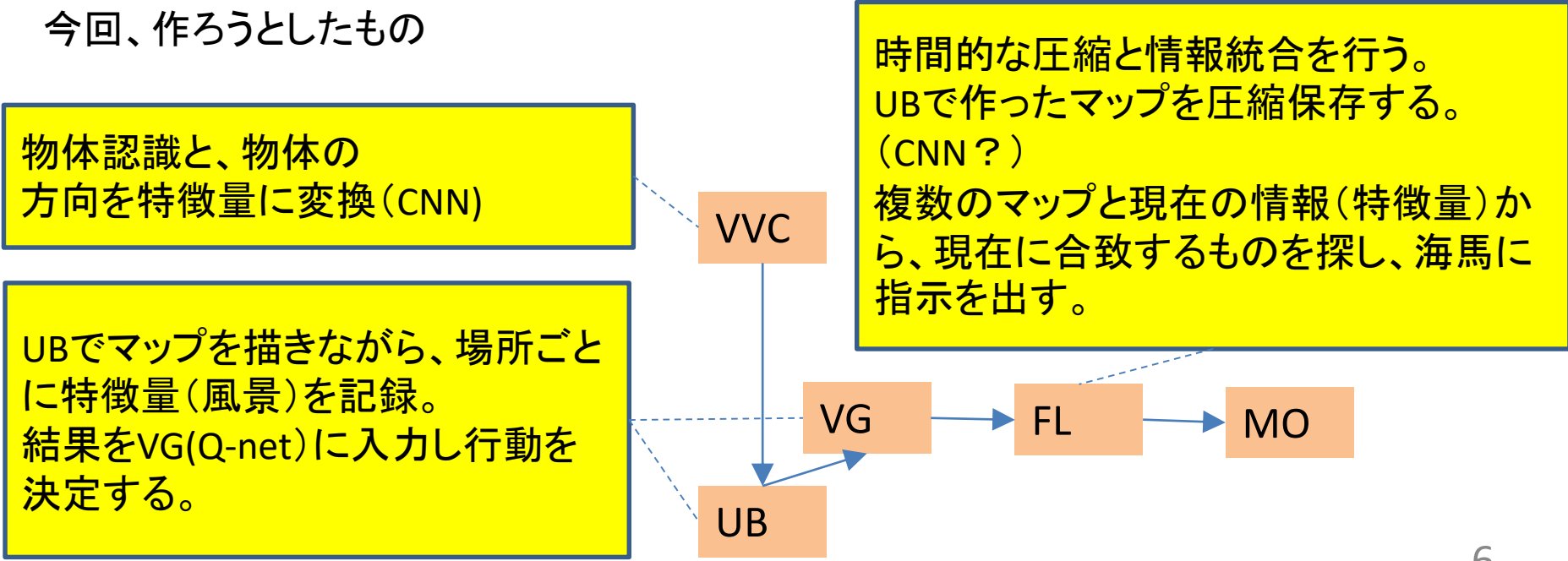
課題1－6

課題1－7

課題1－8

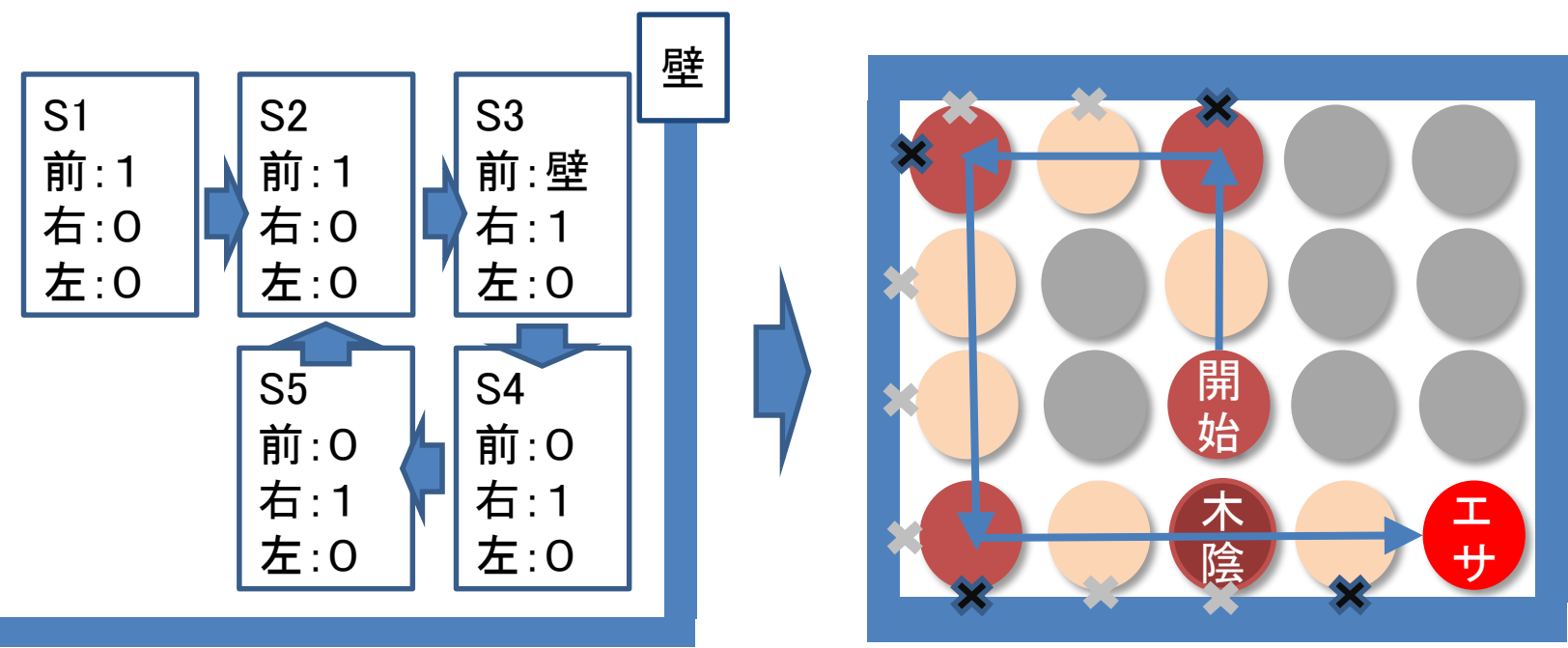
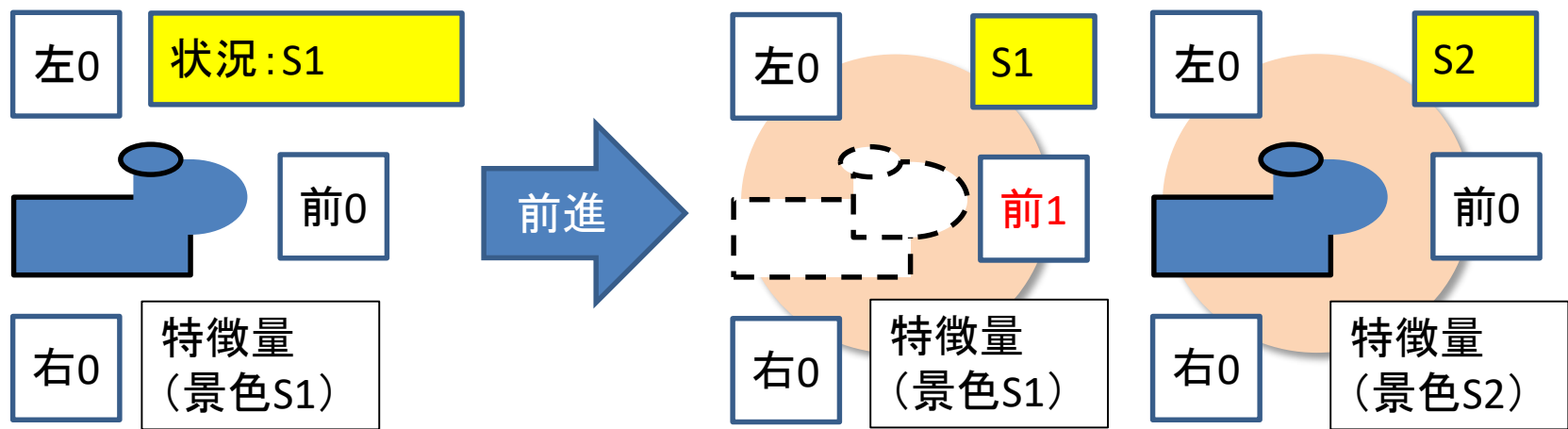


今回、作ろうとしたもの

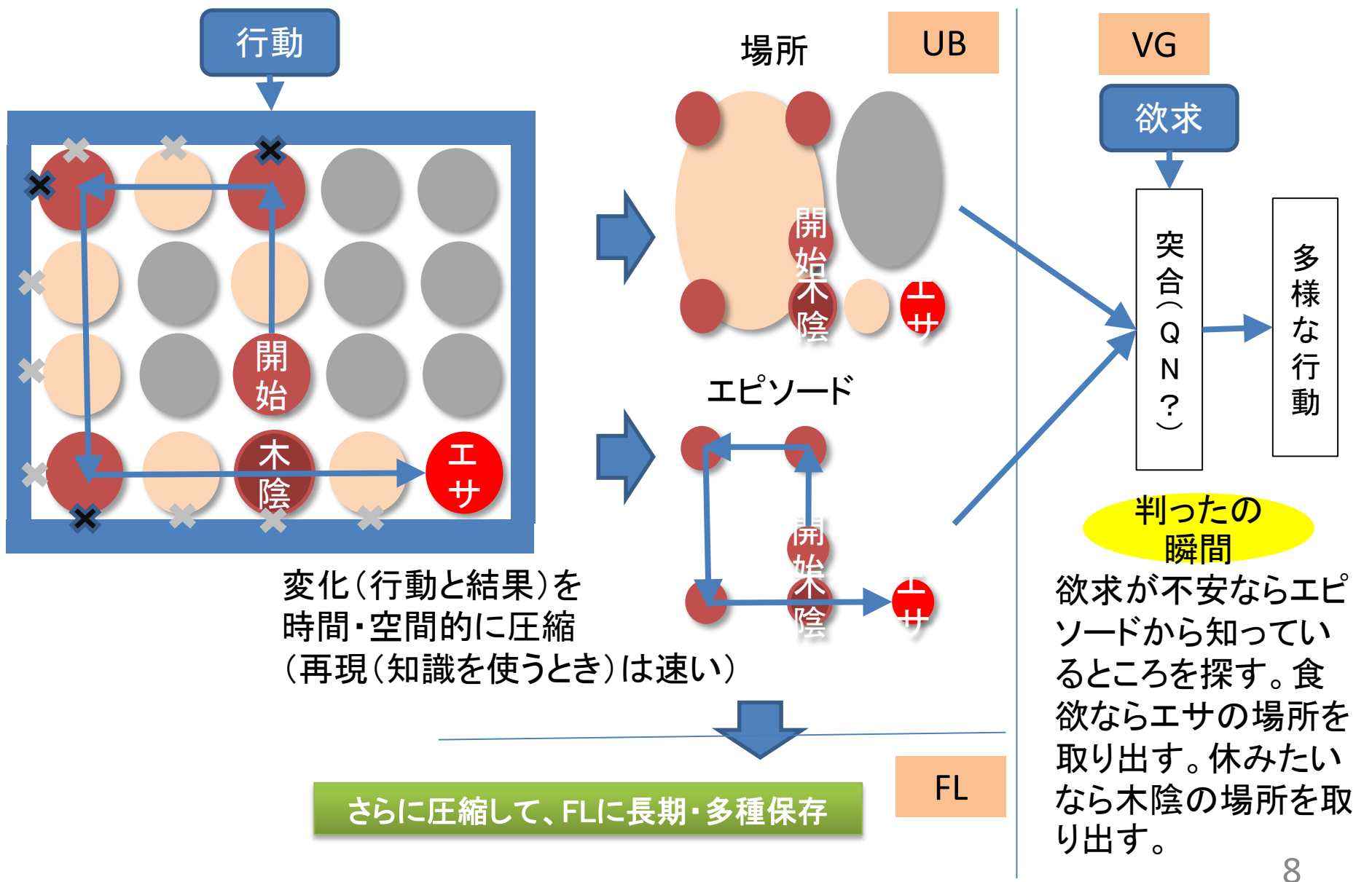


各方向に評価値を持ったセルオートマトン(?)で描いた経路を抽象化

Moment Of Eureka



経路を抽象化した結果をさらに時間・空間的に抽象化(圧縮)



汎用AIを目指す一人として、脳や神経との整合性はとても気になります。今回、先生方や、参加者の方々と、議論できたことはとても役に立ちました。こういう機会を頂き、ありがとうございます。

- ・まずは、今回の実装を完成する。
(UB/BG/FLの処理をNNに置き換えることも含め)
- ・BGの欲求の種類を増やし、行動を多様化させる。

というわけで、

- ・3か月後くらいを目途にリベンジしたい。
Slackで発信？
- ・西日本(九州)でもやりたい！

人間の行動や知的活動

画像
認識

自然
語

統計
処理

専用AIは、人間の活動結果を使って活動を模倣（原理を模倣していないので専用になる）

大規模構造の動き
（領野とか海馬とか）

中規模構造の動き
（CA1とか）

極小構造の動き
（柱状カラムとか）

神経細胞の動き物性
（イオンチャネルの働きとか）

体

今回のハッカソンは、特定の部位の原理に踏み込んで、上位を模倣しようという取り組みと思います。非常に良い課題でした。ありがとうございます。

時間の抽象化、自律学習など課題は多いですが...

模倣する部位を増やすとともに、
徐々に深堀し、”わかった”を増やしたい。

判った、分った、解った...